



業績評価制度と医師給与の実際

— 国立病院機構 —

平成 29 年 2 月

国立病院機構宇都宮病院

1 業績評価制度について

国立病院機構（NHO）は、国民に信頼される医療機関であるとともに業務運営全般の抜本的改善や効率化を図ることが求められています。このためには、業務で発揮した能力・適正・実績等を適正に評価してその結果を給与等に反映するとともに、職員の業務遂行意欲の向上を図ることが必要となります。このため導入された業績評価制度は、職員1人ひとりが病院目標・部門目標を共有し、業務上のコミュニケーションを通じて職員の能力向上や業務の改善を図り、人材育成を通じて各病院とNHO全体の発展を目指すものです。

具体的には、一般職員は7項目、役職職員は10項目の項目ごとに自己評価と上司による評価を行い（下記）、評価結果は給与に反映されます。

【一般職員の評価項目】

- ① マナー・接遇
- ② 日常業務に対する取組状況（知識・識見、向上心・探求心）
- ③ 行動力・判断力
- ④ チームワーク・協調性
- ⑤ 自己管理
- ⑥ コスト意識
- ⑦ 安全管理行動（リスクマネジメント）

【役職職員の評価項目】

- ① 知識・識見
- ② 企画立案力・構想力
- ③ 意思決定力・判断力
- ④ 行動力・実行力
- ⑤ 折衝・調整力
- ⑥ 統率力
- ⑦ 指導・育成力
- ⑧ 職場規律・維持
- ⑨ 患者満足行動・安全管理行動（リスクマネジメント）
- ⑩ 問題解決力・組織管理力

2 年俸について

- 年俸＝月例年俸＋業績年俸（賞与）
- 月例年俸は、年額の12分の1ずつを毎月支給
- 業績年俸（賞与）は、年額の2分の1ずつ年2回（6月と12月）支給
医長以上は「個人・病院」の業績が業績年俸（賞与）に反映
- 月例年俸の他に、扶養手当・住居手当・通勤手当等の生活給手当が支給

3 主な業務手当

2016. 8. 31 現在

医師手当	勤務する地域に応じた額（357,900～150,400円）を支給 専門医等の資格1つにつき月額5,000円を加算（2つまで）
業績手当	年間で基本給の約4.2月分支給（国準拠、6・12月に支給） 医長以上には業績年俸を支給
宿日直手当	宿日直勤務に従事した場合、勤務1回につき20,000円を支給
オンコール手当	救急呼出に備えて自宅等において待機した場合に、待機1回につき5,000円を支給
超過勤務手当	時間外勤務に従事した場合に支給
年度末賞与	当該年度の医業収支が特に良好な病院において3月に支給

※ 詳細は「けっこういいぞ！ NHO」（医師の処遇2016年度版）を参照ください。



4 医師給与（年収）の実際

NHOの医師の給与は給与規定に基づき支給され、医長以上は業績が給与に反映される年俸制の仕組みを導入しています。参考までに、過去の「けっこういいぞ！NHO」（医師の処遇）より医師の年収見込（総支給額）の推移を記載します（実績平均）。

	2011年度	2014年度	2016年度
院長	約 1900 万円 (約 520 万円)	約 2000 万円 (約 580 万円)	約 2100 万円 (約 610 万円)
副院長	約 1850 万円 (約 510 万円)	約 1900 万円 (約 550 万円)	約 1970 万円 (約 610 万円)
部長	約 1800 万円 (約 460 万円)	約 1830 万円 (約 490 万円)	約 1870 万円 (約 510 万円)
医長	約 1600 万円 (約 330 万円)	約 1650 万円 (約 340 万円)	約 1680 万円 (約 350 万円)
医師	約 1400 万円 (約 240 万円)	約 1460 万円 (約 240 万円)	約 1490 万円 (約 250 万円)

※ () = 業績年俸または業績手当

各年度の数字は超過勤務手当などの実績手当を含めた総支給額の平均

